

第15節 伊良部島

第1項 取り組み概要

伊良部島の産業や文化、暮らしを素材としたプログラムの造成や交流会実施、年齢制限のないファミリー向けツアーの実施を通して、島の強みと魅力を存分に発揮した受入れとなった。

また、既存プログラムの見直しを行い大人数向けにも対応できるプログラムへアレンジし、修学旅行向けプログラム開発にも繋げる事ができ、今後の観光受入れの可能性を広げた取り組みとなった。

第2項 造成プログラム一覧

- 1 伊良部島の名物料理体験
- 2 カツオが空飛ぶ伊良部島「なまり節」と漁師飯づくり体験
- 3 佐良浜集落堪能！ウォークラリー
- 4 これであなたもバイリンガル！？伊良部島方言講座

第3項 実施ツアー一覧

＜参加者合計：165名(3名)＞

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
伊良部島の名物料理体験	17/01/18(水)	2泊3日	民泊	30名	50(1)名
	17/02/15(水)	2泊3日	民泊	30名	22(1)名
カツオが空飛ぶ伊良部島 「なまり節」と漁師飯づくり体験	16/11/09(水)	2泊3日	民泊	20名	19名
	16/11/16(水)	2泊3日	民泊	20名	17名
佐良浜集落堪能！ウォークラリー	17/02/25(土)	1泊2日	民泊	25名	27(1)名
	17/03/11(土)	1泊2日	民泊	25名	30名
これであなたもバイリンガル！？ 伊良部島方言講座	未実施	2泊3日	民泊	20名	0名

※表中の()内は助成対象外の内数

第4項 ツアー概要

1. 伊良部島の名物料理体験

ツアー紹介文：

伊良部島の神事や行事には欠かせない、「ぶたの味噌煮作り」を体験。食材を煮込んでいる間は、元気な島のお母さん達とのおしゃべりをお楽しみください！

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	11:15	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	11:30	【結団式】事業説明、諸連絡など
	12:25	那覇空港より[JTA559 便]にて出発
	13:20	宮古空港到着
	13:40	送迎車で伊良部島へ移動 フリータイム
	15:45	伊良部漁協に集合、コーディネーターと合流
	16:00	【オリエンテーション】 会場：伊良部漁協
	16:30	民泊受入家庭と合流
	18:00	夕食 (宿泊：島内民泊)
2 日 目	朝食	
	10:00	【家業体験】
	12:00	昼食 フリータイム 漁協へ移動
	16:00	【モニタープログラム】伊良部島の名物料理体験 会場：漁協 モニタープログラム終了 夕食交流会場へ移動
	19:00	【夕食交流会】 会場：カラオケ ピース (宿泊：島内民泊)
3 日 目	朝食	
	10:00	離島式
	10:15	【振り返りゆんたく会】 会場：伊良部漁協
	11:00	終了
	11:30	送迎車で宮古空港へ移動
	12:00	昼食 フリータイム
	16:50	宮古空港集合
	17:50	宮古空港より[JTA566 便]にて出発
	18:35	那覇空港到着、解散

実施写真：



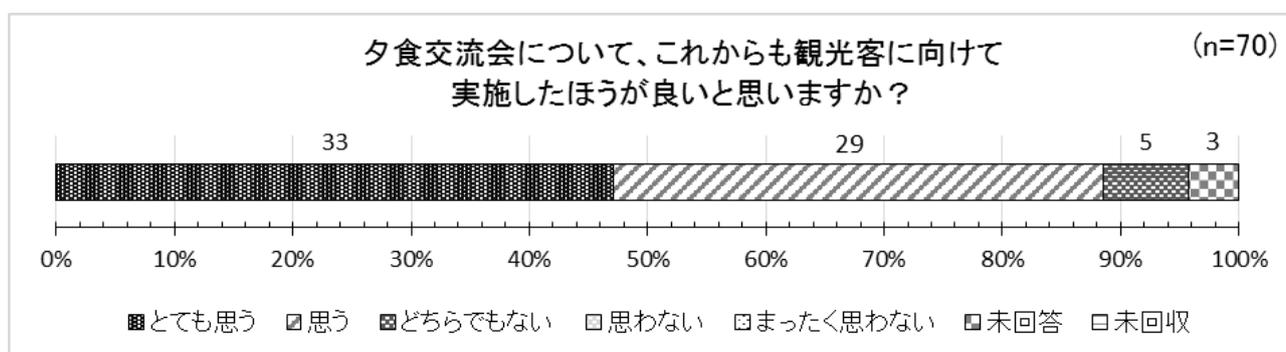
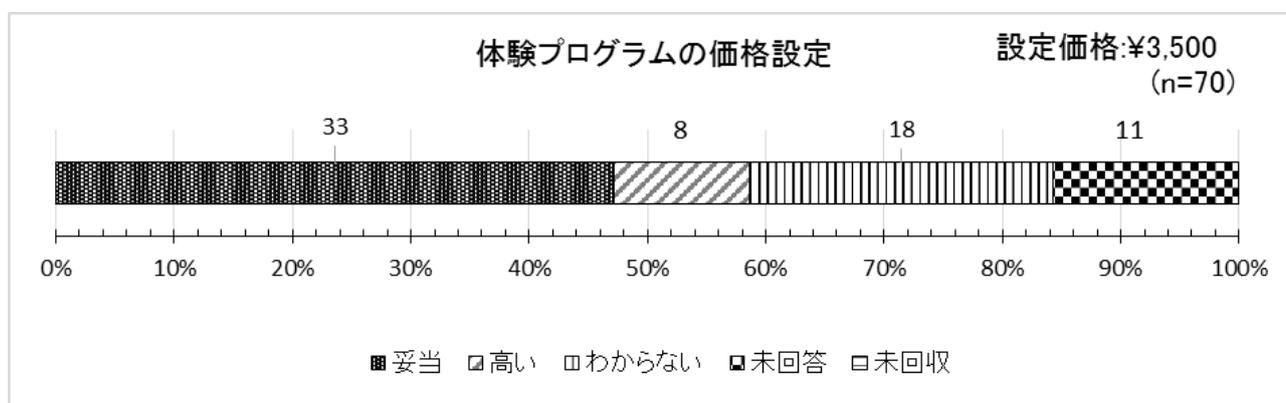
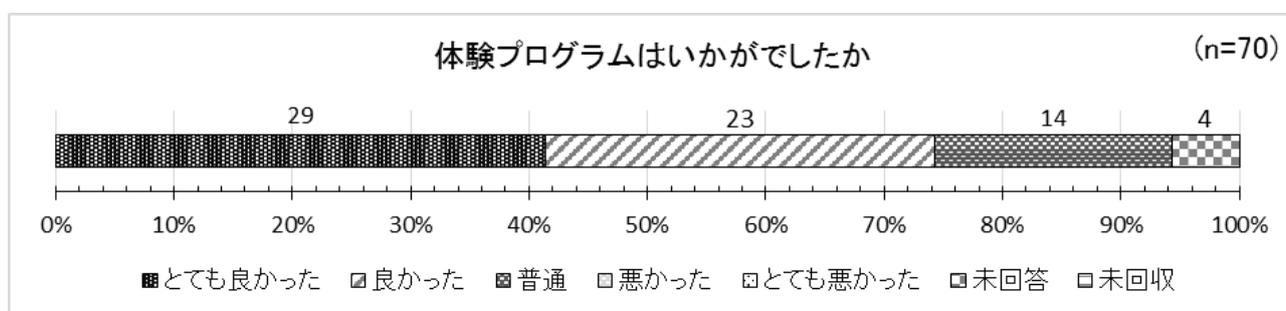
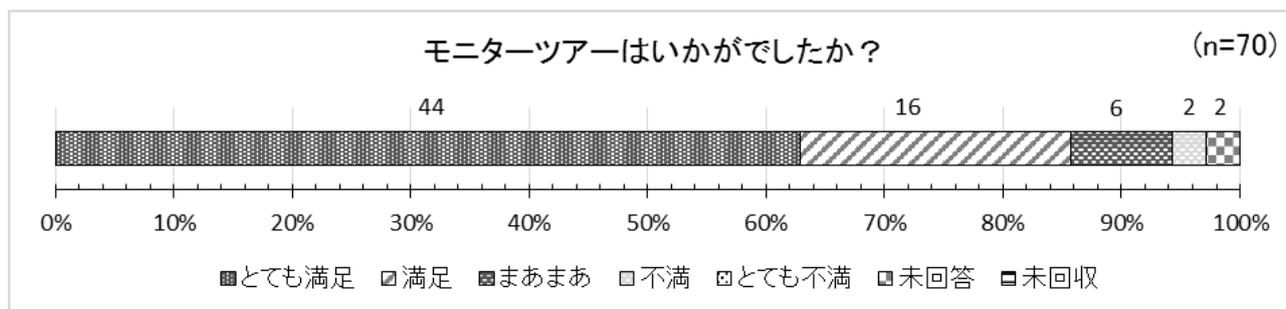
■成果

- ・地元事業者の活用により、ガイドの発掘や地域内連携を強化する事ができた。

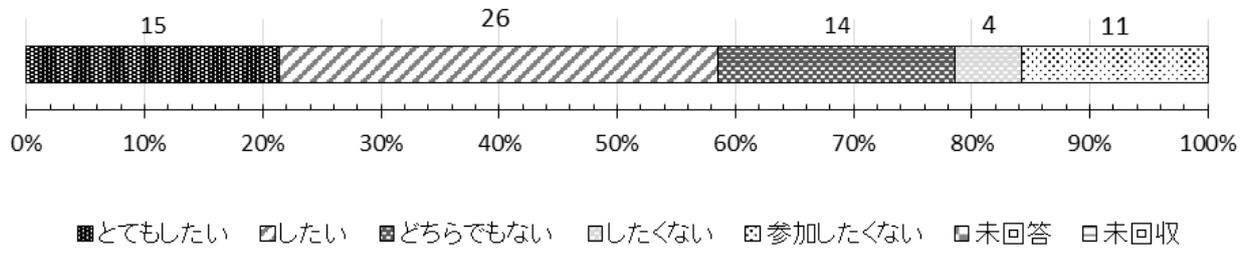
■課題

- ・今後も実施を重ね、説明内容・方法の精査やガイドのスキルアップが必要かと思われる。

モニターアンケート結果：

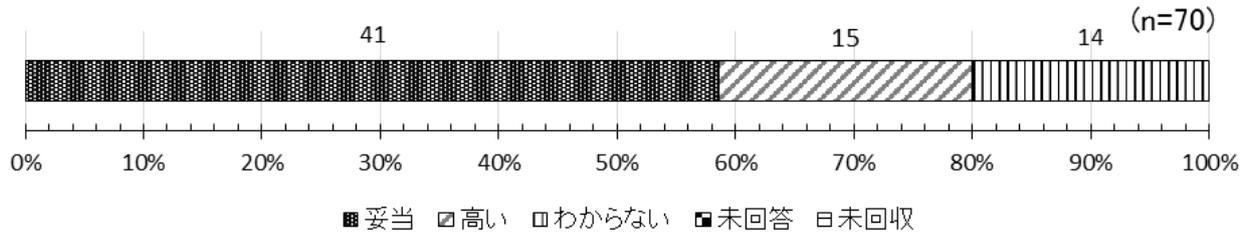


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=70)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥2,500



2. カツオが空飛ぶ伊良部島「なまり節」と漁師飯づくり体験

ツアー紹介文：

これぞ漁師町のプログラム！なまり節づくりの魚捌き～燻製の全工程を体験できるプログラム。作ったなまり節は漁師飯づくりに使ったりお土産にもお持ち帰り頂けます。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	11:15	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	11:30	【結団式】事業説明、諸連絡など
	12:25	那覇空港より[JTA559 便]にて出発
	13:20	宮古空港到着
	14:00	【オリエンテーション】 会場：伊良部漁協
	15:00	【モニタープログラム】「なまり節づくり」（魚捌き、わらめき、燻製）
	17:00	民泊受入家庭と合流
	18:00	夕食 (宿泊：島内民泊)
2 日 目		朝食
	10:00	【家業体験】
	12:00	昼食 フリータイム 漁協へ移動
	15:00	【モニタープログラム】漁師飯づくり 会場：漁協 モニタープログラム終了 夕食交流会場へ移動
	19:00	【夕食交流会】 (宿泊：島内民泊)
3 日 目		朝食
	10:00	離島式
	10:15	【振り返りゆんたく会】 会場：伊良部漁協
	11:00	終了
	11:30	送迎車で宮古空港へ移動
	12:00	昼食 フリータイム
	16:50	宮古空港集合
	17:50	宮古空港より[JTA566 便]にて出発
	18:35	那覇空港到着、解散

実施写真：



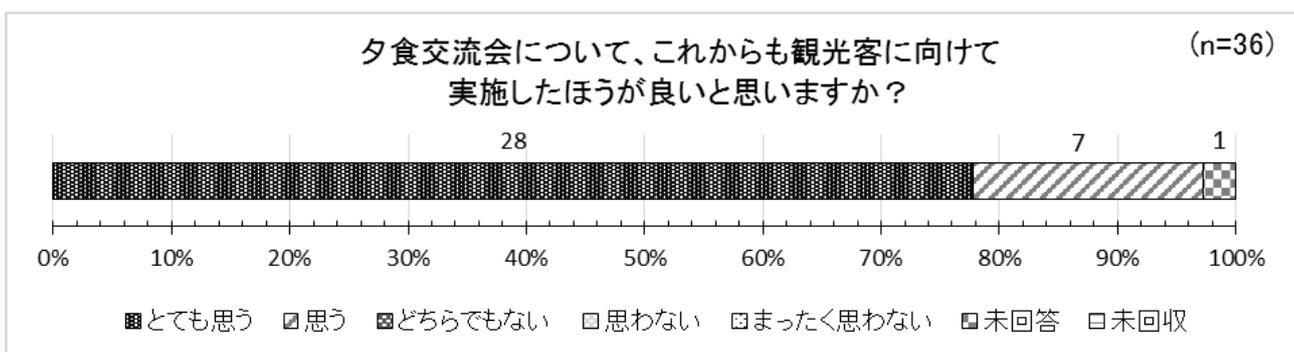
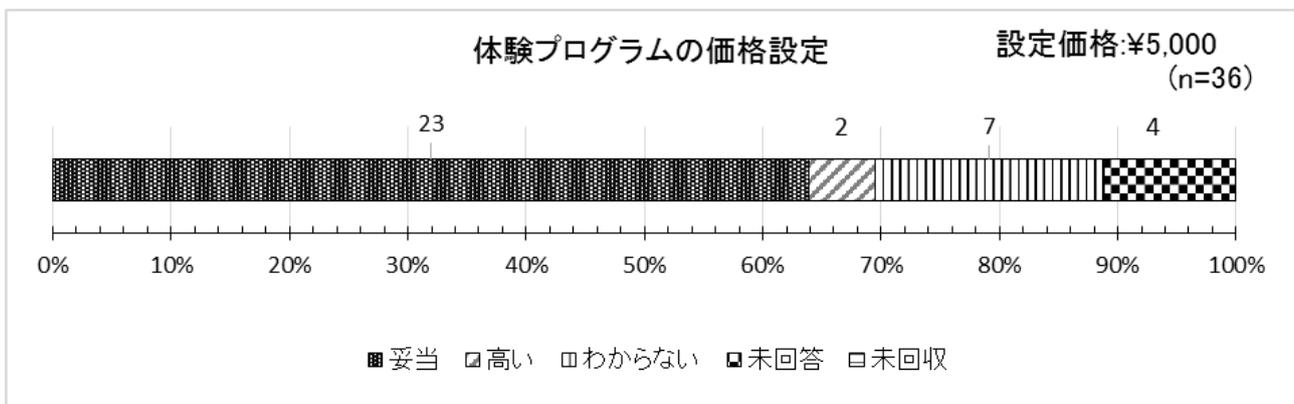
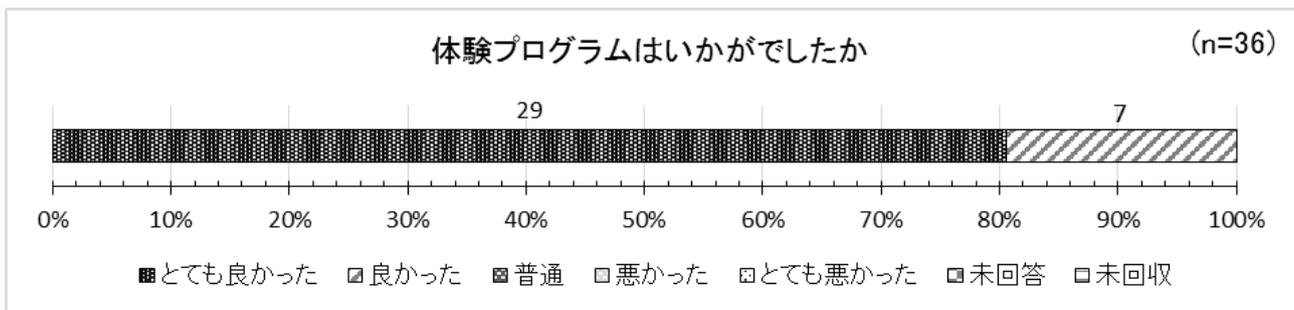
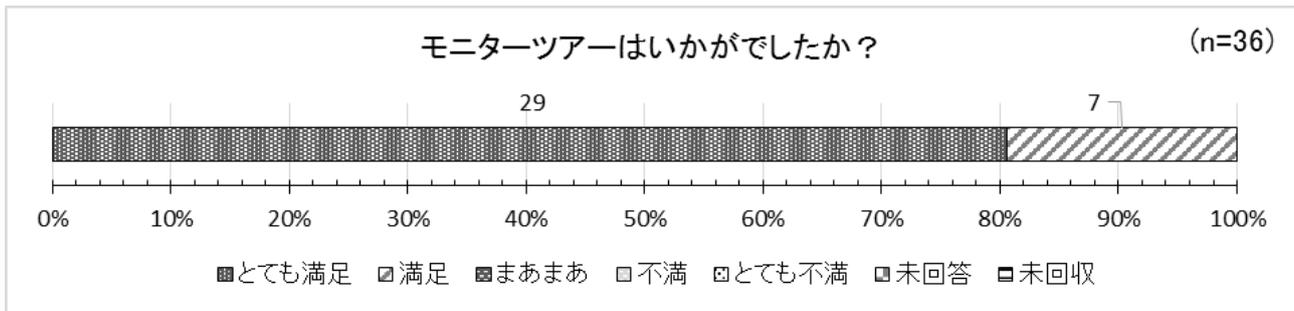
■成果

- ・漁業の街の資源を活用した伊良部島ならではのプログラムとなった。

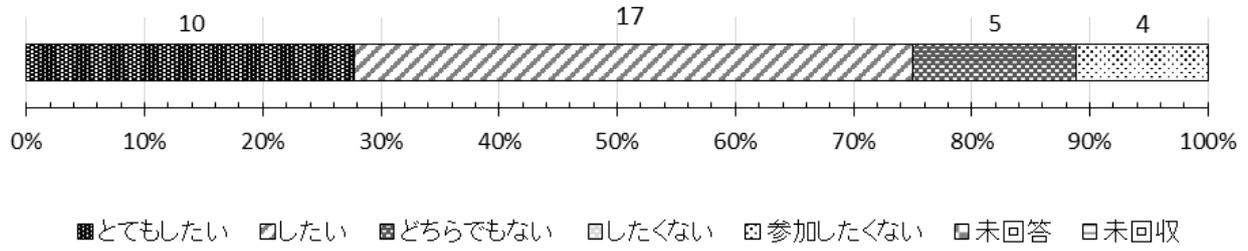
■課題

- ・大人数実施時でも参加者間に体験の差が出ないような工夫を行う事で、参加者の満足度をより高める事ができる。

モニターアンケート結果：



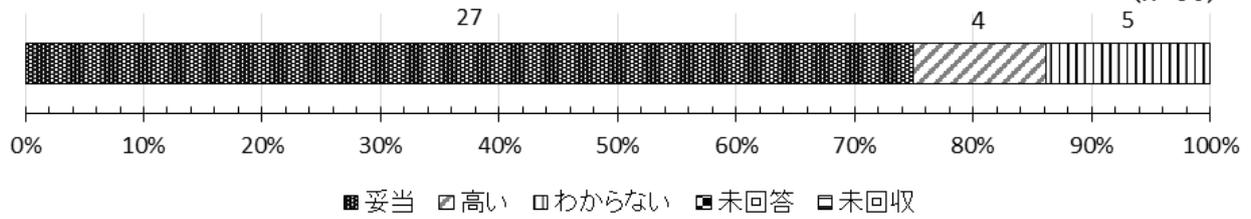
夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=36)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥2,500

(n=36)



3. 佐良浜集落堪能！ウォークラリー

ツアー紹介文：

海に面した丘にカラフルな家々が立ち並び、まるで「ギリシャ」を思わせる町並みをもつ伊良部島佐良浜集落。集落には細い路地がいくつも通っており、天然の迷路のようです。ウォークラリーでのクイズ回答や地域の人達との触れ合いを通して、伊良部島の歴史や文化、魅力を堪能しましょう。ゴールする頃には、あなたも伊良部島ファンになっていること間違いなし！

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	7:25	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	7:40	【結団式】事業説明、諸連絡など
	8:35	那覇空港より[ANA1721 便]にて出発
	9:25	宮古空港到着 送迎車で伊良部島へ移動
	10:15	【オリエンテーション】 会場：伊良部漁協
	10:45	民家さんと合流、民泊先へ移動 フリータイム、昼食
	14:00	【モニタープログラム】佐良浜集落堪能！ウォークラリー 会場：佐良浜集落内
	16:00	終了 フリータイム
	19:00	【夕食交流会】 会場：カラオケ
	21:00	終了 (宿泊：島内民泊)
2 日 目		朝食
		【家業体験】
	10:00	離島式
	10:15	【振り返りゆんたく会】 会場：伊良部漁協
	11:00	終了
	11:30	フリータイム、昼食 送迎車で宮古空港へ移動
	16:50	宮古空港受付カウンター前集合
	17:40	宮古空港より[ANA1728 便]にて出発
18:25	那覇空港到着、解散	

実施写真：



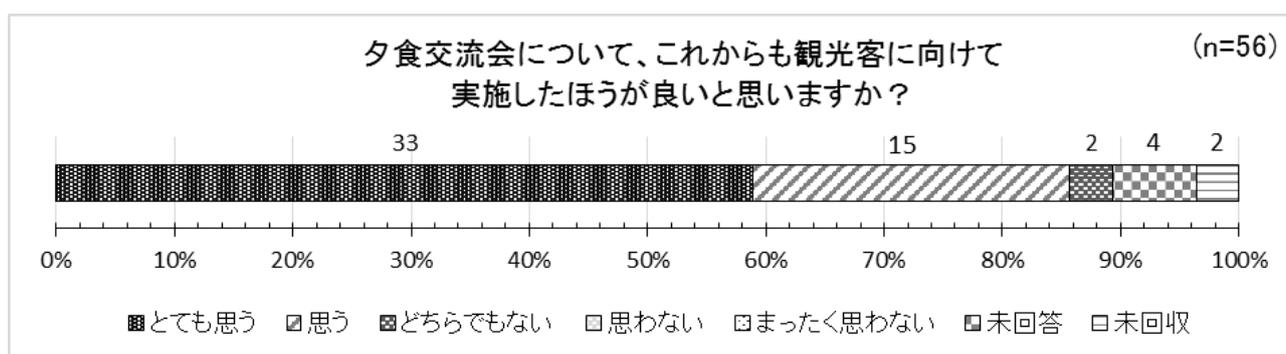
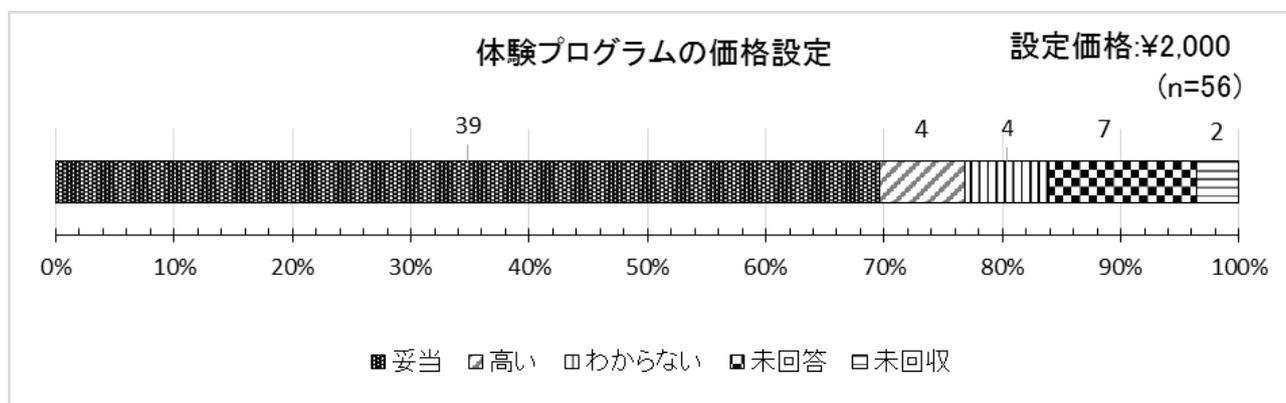
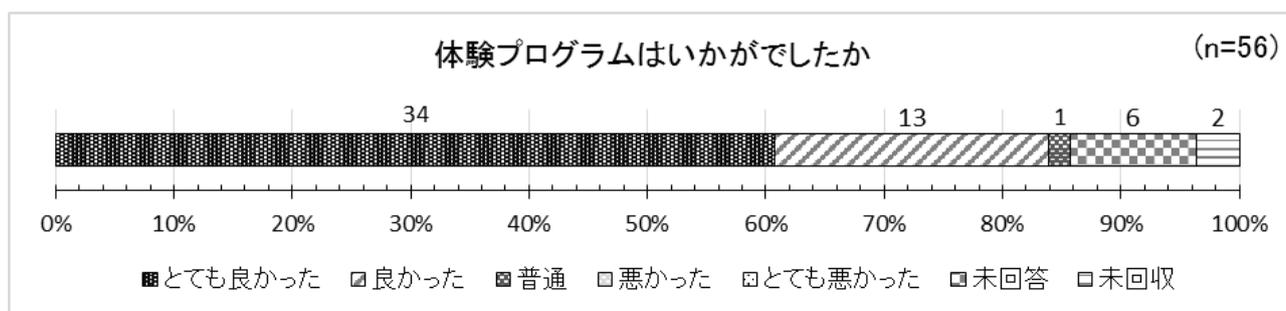
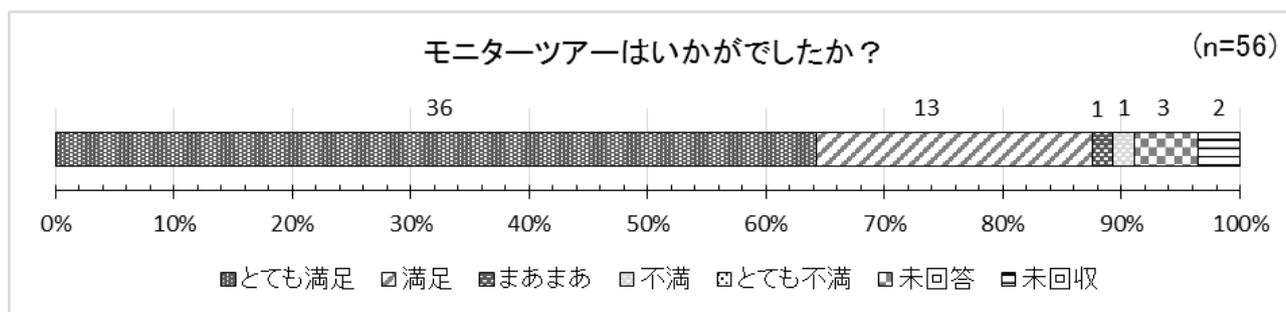
■成果

- ・今後の修学旅行受入時に活用できる文化プログラムの造成に繋がった。

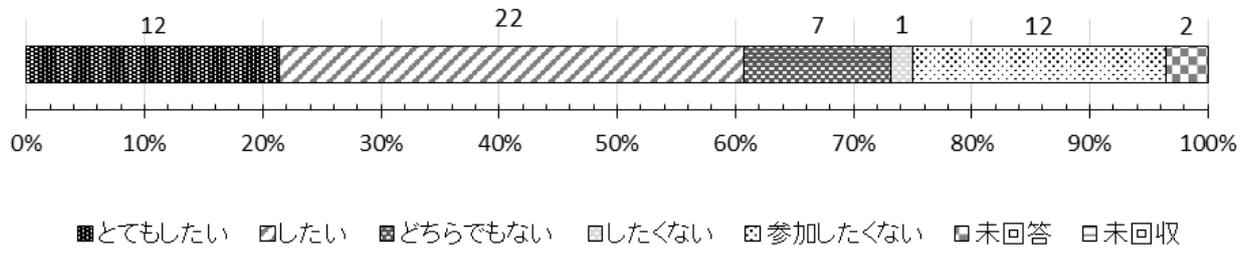
■課題

- ・プログラム実施にあたっては地元住民の理解は必要不可欠なため、今後の継続に向けて、住民の理解や参画を促す取り組みが必要ではないか。

モニターアンケート結果：



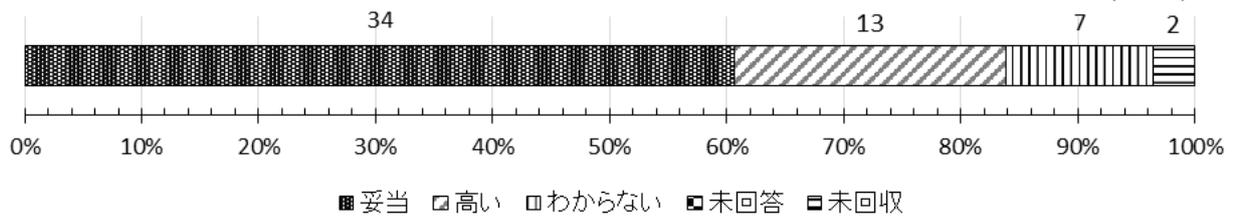
夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=56)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥2,500

(n=56)

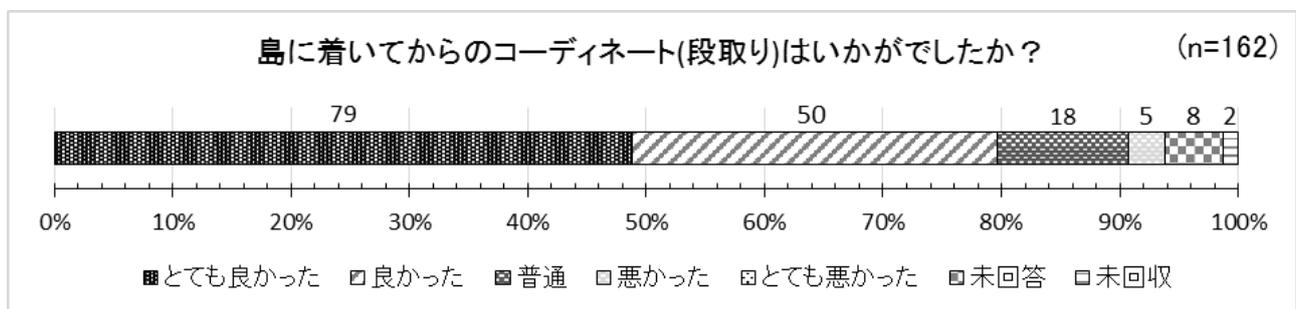
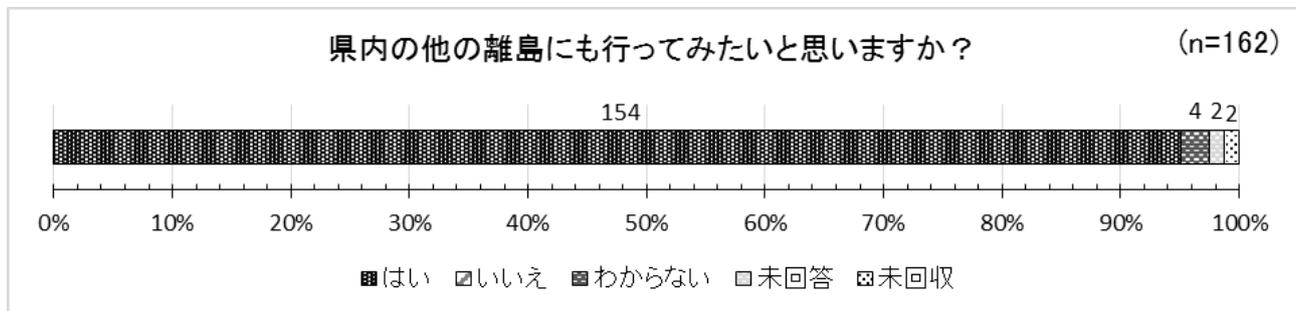
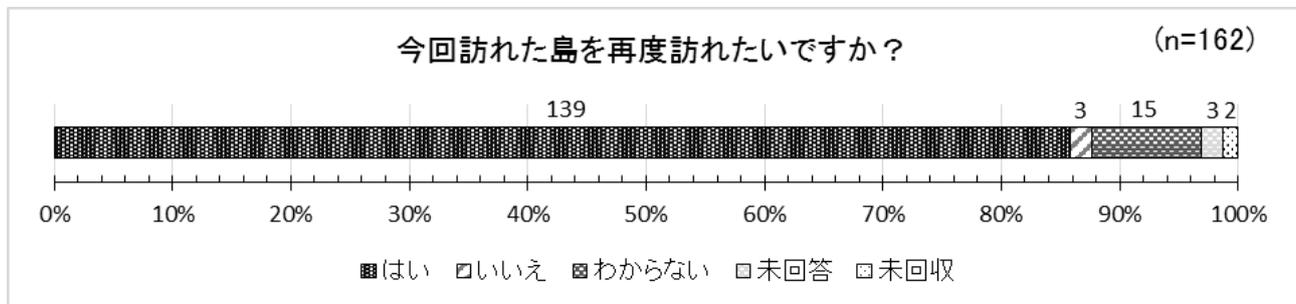
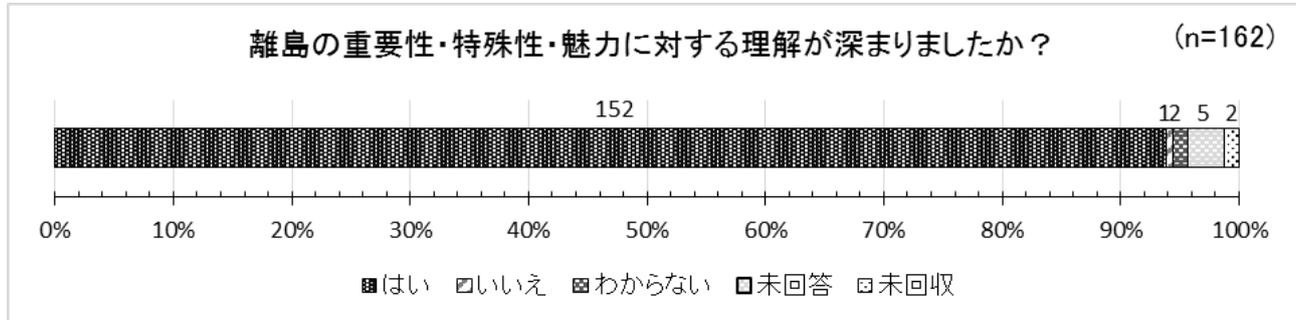


4. これであなたもバイリンガル！？伊良部島方言講座(未実施)

ツアー紹介文：

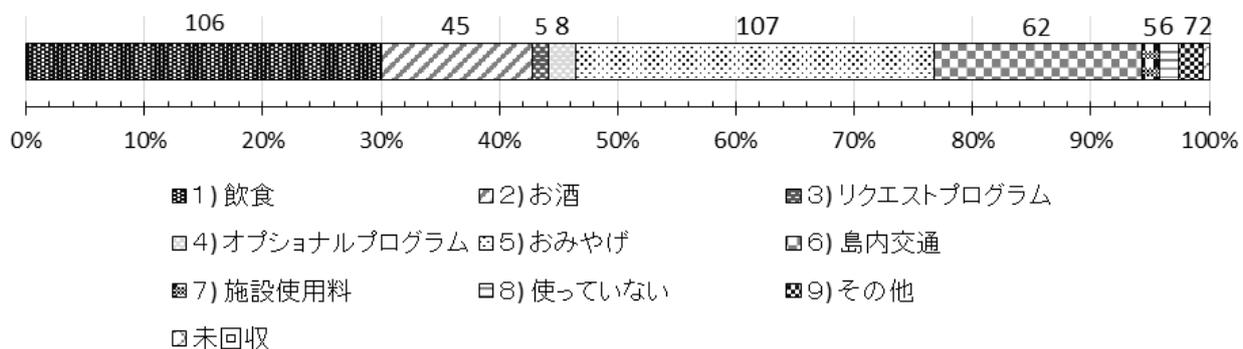
伊良部島集落はそれぞれ独自の方言があります。講座を通して違いや口調や意味などを学び、最後は島言葉で民謡を楽しみます。

第5項 島に関するアンケート結果



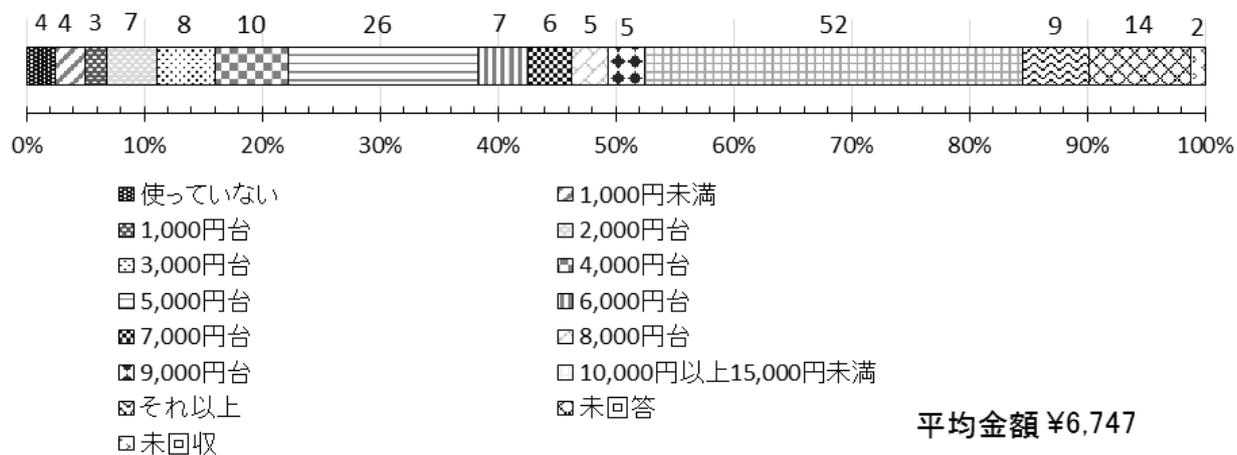
何に対してお金を使いましたか

(※複数回答可)



使用した合計金額

(n=162)



第6項 島の声

- ・モニターとの交流を通じて大人民泊やファミリーを受入れる楽しさを体験する事ができた。受入民家の喜びが大きく、次年度の受入希望者が増えている。
- ・伊良部島らしさを活かしたプログラムづくりに取り組んだ結果、参加者の満足度も高かった。
- ・民家との組み合わせやモニターの希望に合わせた移動、オプションプログラムなど細かい手配や段取りのスキルを身に付ける事ができた。
- ・複数事業者に公平にプログラムを担当させた結果、参加事業者の売上増加に繋がり参加の喜びを作る事を意識した。
- ・車椅子のモニターや障害を持つモニターの受入れも行い、対応なども学べた事が良かった。
- ・大人数のプログラムでは、参加者間で体験内容の差が出てしまった事や子連れの参加者は子どもに気がいってしまいプログラムに集中できない、という課題もあったので次年度改善に取り組みたい。
- ・民家の施設にクレームを言うモニターもいたため、民泊についての事前周知が必要と考える。

第7項 参加者の声

- ・伊良部島の人々が豊かな自然を生かし、漁業の特性を十分に活かし個性的な島の産業を発展させている。それに島の人々は頑張り屋さんだと思う。
- ・今回参加して歴史をもっと知りたくなった。観光ガイドブック(おすすめポイントなど)オリジナルのものを作ってみてはどうでしょうか。
- ・手づくり感と温かさに溢れていて素晴らしかった。民泊先の民家さんだけでなく、島の人達とも交流ができて感動しました。
- ・カツオの街の誇りや歴史、大橋ができるまでの島の暮らし(苦労したところなど)を伝える資料館などがあるといいなと思いました。
- ・島に来る前に受入れ民家さんのプロフィールや得意なこと、民家さんと体験できるプランなどは事前に知っておきたかったです。

第8項 成果

コーディネーター自身がPDCAを回しながら積極的に取り組んでいた事もあり、プログラムのブラッシュアップやコーディネータースキルの向上、受入体制の強化に向けて効果的な取り組みができた。コーディネーターが多くの島の人達を巻き込みながら受け入れた事で、人を受け入れる事の喜びと経済効果が島内で広がった事で、観光振興に向け今後更なる取り組み強化が期待できる。

第9項 課題

レンタカーを借りた人と借りていない人とで受入民家の動き(島内案内など)に差が出た事やモニターから「フリータイム時の島での過ごし方が分からない」などの声もあったため、モニターへ伝えるべき情報を精査し周知徹底を図る必要がある。また、島側でも受入民家が行うサービスを整理し、受入民家全体で取り組んでいく事も必要であろう。

現在はコーディネーターを1名で担っているが、安全管理の面からも人員を増員するなどの体制強化を図り、継続的に取り組める体制づくりが必要である。